

## 指定管理者による管理運営の実施状況報告

- 1 施設名：福岡県国際文化情報センター
- 2 指定管理者名：公益財団法人 アクロス福岡
- 3 指定期間：平成28年4月1日～令和3年3月31日
- 4 施設設置目的：県民に文化の創造と享受の場を提供するとともに、国際的な文化、情報の総合的交流拠点とし、もって県民の生活と文化の向上に寄与する。
- 5 管理運営についての点検結果（平成30年4月1日～平成31年3月31日）
  - (1)点検方法：事業報告書、現地確認・ヒアリング等をもとに、指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。
  - (2)点検結果：別添のとおり

## 1 管理運営状況総括表

| 大項目           | 事業計画（取り組みや改善の内容等）  | 管理運営の概要  |
|---------------|--|--|
| ①公共性（公益性）の確保  | <ul style="list-style-type: none"> <li>当施設の設置目的を踏まえ、県の文化振興施策に沿った事業展開や安全快適な施設の維持など、更なる利用者サービスの向上に努める。</li> <li>平等利用の視点から、誰にでも快適に施設を利用できる運営を行う。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>事業活動においては、県の文化振興施策に沿った事業を展開し、施設運営では安全管理の徹底と利便性の向上を図り、窓口サービスや接客マナーの向上など利用者の立場に立った一層のサービス向上に努めている。</li> <li>全ての人が施設を快適に利用できるよう努めている。特に高齢者や障がい者の方が利用する際は、職員による誘導・介助など適切な対応を行っている。</li> </ul>   |
| ②施設利用及びサービス向上 | <ul style="list-style-type: none"> <li>施設サービス事業について、総合的なサービス強化や、ニーズの把握、営業誘致の強化を通して施設利用を促進する。<br/>(目標全館稼働率 85.0%)</li> <li>文化振興事業は、顧客ニーズを踏まえながら、バランスのとれた事業を展開する。<br/>(目標事業数 90事業)<br/>(目標入場者数 160,000人)<br/>(目標友の会会員数 4,500人)</li> <li>情報提供事業について、インターネットの普及、アジアからの来訪者の増加を意識した情報発信を強化する。また、地域の伝統文化の紹介や、地域での文化活動を支援する場の提供を行う。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○施設サービス事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートやホームページを通じた利用者ニーズの把握を行い、サービス向上を図っている。</li> <li>(公財)福岡観光コンベンションビューローと連携し、会議の誘致を進めているほか、インターネットによる検索連動型広告(リスティング広告)の掲出を行った。全館稼働率は低下したものの、施設利用者は増加した。<br/>(全館稼働率: 75.6% (対前年度△2.3%)<br/>施設利用者数: 825,175人 (対前年度+0.9%))</li> </ul> </li> <li>○文化振興事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>質の高い音楽・舞台の実施や演奏家を志す青少年の育成など、様々な取り組みを進めており、事業数及び入場者数ともに目標を達成した。</li> <li>友の会会員数については、会員向けの講座実施やホームページ改善など、会員数増加を図る取り組みを行った結果、目標はわずかに下回ったものの増加した。<br/>(事業数: 103事業 (対前年度+4事業)<br/>入場者数: 175,830人 (対前年度+1.3%)<br/>友の会会員数: 4,455名 (対前年度+1.7%))</li> </ul> </li> <li>○情報提供事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の伝統文化を紹介する多彩な企画展や文化講座を開催している。</li> <li>また、SNS(ソーシャルネットワークサービス)の普及に対応するため、フェイスブックに加え、ツイッターやインスタグラムも活用して、効果的・効率的な情報発信に努めている。</li> </ul> </li> <li>○地域・伝統文化の紹介と活性化 <ul style="list-style-type: none"> <li>伝統工芸品の展示及び企画展や、歴史文化を中心とした講座を開催<br/>50企画 入場者等数 93,107人 (対前年度△6.5%)</li> </ul> </li> <li>○国際化に向けた受入れ体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>SNSを活用するとともに、ホームページにおいて、英語(英語から多言語自動翻訳)で公演や文化・観光情報を発信</li> <li>1階観光案内所において、窓口を訪問する外国人利用者へ情報を提供(外国人対応件数: 1,775件)</li> </ul> </li> </ul> |

| 大項目              | 事業計画（取り組みや改善の内容等）   | 管理運営の概要  |
|------------------|---|--|
| ③経営（収支）改善        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施目的を明確にして事業を行い、事業・経営の評価を定期的に行うことで、効率的な運営を目指す。</li> </ul>                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用促進のため、大学や関連団体等に働きかけ、比較的景気に左右されない医学会、国際会議の誘致に取り組んでいる。<br/>医学会、国際会議開催件数： 67 件（対前年度 +3 件）<br/>全体の施設利用料金（施設サービス事業）収入実績：608,491 千円（対前年度 100%）</li> <li>・文化振興事業については、廉価なコンサートや参加型事業など公益性（参加しやすさ）を重視した事業と、人気アーティストや著名楽団等、収入の見込める事業をバランスよく実施している。<br/>県委託料（指定管理料）： 237,692 千円（施設修繕に係る追加契約分を除く）（対前年度△2.5%）</li> </ul> |
| ④職員確保方策及び健全な財政基盤 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の管理運営や各事業を着実に実施するための人材、職員体制を確保する。</li> <li>・自主財源比率を確保しつつ、経営効率化を進め、財政基盤を強化する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門性を備えた人材を確保し、施設の管理運営、文化・情報事業の確実な実施に必要な組織体制となっている。</li> <li>・借入金がなく、健全な財務体質を維持している。</li> </ul>   |
| ⑤施設管理上の個別事項      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全対策、危機管理対策の強化を図る。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクロス福岡ビル全体の防災体制の充実強化に取り組むとともに、地元自治体が発行したJアラートを活用した訓練に合わせて独自の訓練を実施し、危機管理意識の向上を図った。</li> </ul>   |

## 2 点検結果

|   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> A+（提案内容を上回った）<br><input type="checkbox"/> A（提案内容をやや上回った）<br><input checked="" type="checkbox"/> B（概ね提案内容のとおり）<br><input type="checkbox"/> C（提案内容をやや下回った）<br><input type="checkbox"/> D（提案内容下回った） | <p>【総合コメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当施設の設置目的を踏まえ、質の高い芸術鑑賞の機会の提供や地域と連携したコンサート等の文化振興事業、アジアをはじめとする訪日外国人旅行者の増加を見据えた情報提供事業の実施、安全管理の徹底と利便性の向上を図った施設運営など、利用者サービスの充実に努めている。</li> <li>・医学会、国際会議の誘致による利用促進、公益性を重視しながらも収益の見込める事業の展開により、収入の確保に取り組んでいる。</li> <li>・全館稼働率は目標を達成しなかったが、文化振興事業入場者数や主要施設の稼働率の水準を維持するなど、成果を収めている。</li> </ul> <p>以上のとおり、施設の設置目的に沿って、概ね提案どおりの運営が行われている。</p> |
|---|--|